

質問	回答
各事業の事業費を伺いたい。また、資材等が高騰しており、工事費が当初計画より上がっているか、その影響で工程のずれがあるのか伺いたい。	事業費は、鶴川駅南土地区画整理事業が約71億円、北口交通広場整備事業が約46億円、南北自由通路整備事業が約39億円である（その他事業は精査中）。工事費については、資材・人件費の高騰により当初想定していた金額より上がっている。毎年度の予算要求を現状にあわせた金額で行い、スケジュール通り進めていきたいと考えている。
鶴川駅南口の改札がなくなると聞いているが、残してもらうことができるのか伺いたい。	鶴川駅周辺再整備事業は、町田市が2016年10月に策定した鶴川駅周辺再整備基本方針に基づき進めている。安全で便利な交通と快適なにぎわいのある駅前空間の実現を目標としている。 北側のまちは新しく再編され、南側は新たなまちが生まれてくるということで、それぞれを自由通路でつなぐことは重要であると考えており、この自由通路を中心として人の動きが生まれることで、人々が行き交い、活気あふれる駅前空間を形成していきたい。 このまちづくりの実現に向けて、現状、人の流れが分散する要因になっている既存の改札口を撤去して自由通路側へ集約することで、自由通路を中心として東西南北に人と人のつながりを生み出していきたい。
スターバックス前のロータリー(西口交通広場)が、今後どうなるのか伺いたい。	これまで西口交通広場にあったタクシー乗り場については、2月17日の仮使用開始にあわせて北口交通広場に集約している。現在は、一般車両の乗降で使用している状況である。今後改札の位置も変更になる中で、西口交通広場のあり方について町田市で検討していきたい。
南側に新たにできる商業施設の誘致の役割は、小田急電鉄なのか、町田市なのか伺いたい。また、北側の商業施設について分かっている内容があれば伺いたい。	北側の商業施設の土地は小田急電鉄所有地であり、今後小田急電鉄の方で検討していく。具体的には、再整備事業の進捗にあわせて検討していくと聞いており、現時点ではどのような計画になるのか聞いていない。 南側の商業施設は、交通広場の東西に隣接している街区を、町田市としては想定している。ここの土地は、個々の地権者が土地を所有しており、地権者がどういった建物計画を立てていくか次第になる。誘致については、地権者の土地の利活用になるので、現時点で町田市が誘致する計画はない。
東西動線に行くには、自由通路をおりてUターンする形で利用することになるが、マルシェが遮断してしまう。自由通路からポプリ方面に行く通路を確保してもらえるか伺いたい。東西動線が確保されないようであれば、北口改札を残してもらえるか伺いたい。改札を残すことが難しければ、出口だけでも確保してもらえるのか伺いたい。	現在の計画では、自由通路をおりて、マルシェ1の1階を通過して西口に行く動線となっている。2019年に、小田急電鉄に対して、現状の通路による東西方向の動線を維持すること及び将来、小田急マルシェ鶴川1の建て替えの場合において、東西方向の動線を確保、及び自由通路への接続を検討することについて市から依頼をしており、小田急電鉄からは、具体的な方策について別途協議することを条件に了承を得ている。今後、小田急電鉄が小田急マルシェ鶴川1の建て替えを実施する際には、小田急電鉄と協議していく。 北口改札を残してもらいたいという件については、先ほどの南口改札口を残してもらいたいというご意見の回答と同じ内容になってしまうが、南北が分断されているというところで、北側のまちは新しく再編され、南側は新たなまちが生まれてくるので、自由通路上に改札を集約してそこを中心として、東西のまちのにぎわいをもたらしていくというのが市の考え方である。北口の改札についても、自由通路に集約する計画で考えている。
バス停の位置とバスの系統について、整備中の段階と最終的にどうなるのか。北口・南口あわせて伺いたい。	北口の3、4、5番乗り場は、今の場所が最終的な位置となる。キャンドウ前の1、2番乗り場は、最終的には、3番乗り場の西側に移動することになる。 現在、三輪や三輪緑山から北口に向かってくる路線は、5系統あり1日133台※となっている。 現在の予定では、この5系統が南口に移動する予定となっている。バスを降りてからは、階段・エスカレーター・エレベーターを使用し、自由通路を通過して改札口に向かっていただきたい。 北口のどのバス停がどこ行きになるかは、2027年度末までは現状のままであるが、2027年度末に北口が完成した際に、どのバス停がどこ行きになるかは、これからバス事業者の方で検討していく。 ※7月8日のダイヤ改正に伴い1日119台となっている
現在の北口で、バスから降りた時に駅までどのルートを通れば良いか伺いたい。	歩行者の動線については、配布資料の説明資料2の1ページ目の左下と右下の図面で説明。右下の場合は、L字型にデッキができるので、信号の方に行かずエレベーターを使用してデッキに上がり横断することも可能である。 最終的には、バスを降りてから階段・エスカレーター・エレベーターを使用してデッキに上がり、自由通路を通過して改札口に向かっていただく。

質問	回答
マルエツスーパー前の歩道が狭く、特に雨が降ると水がたまりボトルネックになると考えている。今後広げる予定があるのか伺いたい。	現状の幅員が最終形であり、今後広げる予定はない。
駅周辺(北側・南側)は、どのような緑化計画になっているのか伺いたい。	北口については、昨年度の工事で交通島のところに中木や高木を植えている。中央分離帯には、今年度後半の工事で低木を植える予定である。 南口については、公園2箇所、緑地3箇所を区画整理事業で整備していく。どのような植栽にするかはこれから検討していく。駅前交通広場の交通島にも植栽をしていく予定である。
ポプリホール方面から歩いて橋上改札口に向かう場合、具体的にどういう動線になるか伺いたい。改札口が切り替わる時期はいつか伺いたい。	ポプリから東の方にまっすぐ歩いてきて、小田急マルシェ1を通り抜けて、左に曲がって階段・エスカレーターでデッキに上がって自由通路を通して改札に行くルートと、1号踏切を北から南に渡って、両側歩道が設置される12m道路を東に交通広場の方に向かって歩き、階段・エスカレーター・エレベーターで自由通路に上がって改札に行くルートになる。改札口の切り替えの時期は、2027年度末を予定している。
南側自転車駐輪場(鶴見川沿い)は将来的にどうなるのか伺いたい。	駐輪場西側に、区画整理事業区域内の道路に接続する道路を新設する予定があり、この一部が駐輪場にかかるため、駐輪場の広さが現状より狭くなる。駐車台数が減る分の代替については、今後区画整理事業の進捗に合わせて検討していく。
3番乗り場に仮設屋根を設置してもらったが、設置するまでに非常に多くの要望があった。住民のニーズを敏感に感じて、早めに対処してもらいたい。	皆様のご意見に対し、対応に時間がかかってしまい申し訳なかった。引き続き、皆様のご意見に耳を傾けながら工事を進めていきたい。
鶴川駅東口の交差点で、三輪緑山方面に右折するところが非常に混雑している。何か対策ができるか伺いたい。	鶴川駅東口交差点の渋滞は、駅前広場を計画する段階から課題であると市でも捉えている。そこで、今回の駅前広場再整備にあたっては、少しでも混雑緩和を図るため、鶴川駅東口交差点から駅前広場入口までの距離を長くするなど、警察と協議を行い現在のレイアウトになっている。また、南口の駅前広場ができることで、三輪緑山方面からの車両が分散され、鶴川駅東口交差点の渋滞緩和に寄与すると考えている。整備完了まで少し時間がかかることから、引き続き現場状況を確認しながら警察と協議を行い検討していきたい。